

(保護者用)

アタマジラミの流行について

アタマジラミは、人の頭髪にだけ寄生して、吸血をすることにより、頭皮のひどいかゆみや湿疹などを生じさせる寄生虫症です。成虫は 2~4 ミリ大で灰色か黒灰色をしており、脚で頭髪にしがみついて動き回ります。成虫・幼虫どちらも吸血します。

卵は 0.5 ミリ大で白色で、1 週間から 10 日で孵化します。頭髪の片側にしっかりと付着しており、引っ張ったぐらいでははがれません。成虫・幼虫ともに、頭皮から吸血をして生存しているので、頭髪を離れ、吸血をしないと約 3 日間で死んでしまいます。

アタマジラミからウイルス感染症などの病気がうつることはありませんが、ひどいかゆみを起こしてかきむしることにより、とびひ（伝染性膿痂疹）を起こすことがあります。

○感染の原因

「不潔だから感染した」と言われることがありますが、決してそういうわけではありません。毎日洗髪し、頭皮をきれいにしているにもかかわらず、アタマジラミに感染します。

アタマジラミに感染している人の頭が、別の人の頭と接触したり、感染している人の身の回りの物（寝具・帽子・タオル・ブラシなど）を共用することなどで、直接、アタマジラミが別の人の頭に移動することで感染します。

○保育園としての対策

(アタマジラミに感染している場合)

1. カラー帽子は、毎日持ち帰りとし、通園バッグの中に入れておく。
2. スタッキングベッドカバー、バスタオル、上掛け、帽子や衣類は毎日持ち帰り洗濯をし、60 度以上を保ったお湯に 5 分間浸し洗う、またはアイロンをかけて持ってくる。
3. 髪の長い子は、髪をしっかりとまとめ毛先が出ないようにお団子結びにする。

(全園児)

マフラー、ニット帽、手袋を園内に持ち込まない。

- ① 毎日洗髪しましょう。
- ② できるだけ目の細かいくしで頭髪をとかしましょう。
- ③ 身の回りの物の共用を避けましょう。

10 日間対策をして効果がない場合は、もう一度対策を見直しましょう。